

検討シート

集中豪雨による洪水を対象とした避難タイムライン

時間 (目安)	施設の防災体制		タイミング・判断基準	防災行動(例)	役割分担 (◎主体、○行動支援)			備考
	体制区分	タイムラインレベル	洪水					
集中豪雨は、 短時間で災害が発生する恐れがあります	注意体制	タイムライン発動	<input type="checkbox"/> 佐賀県内で今後大雨が予想され、佐賀県（南部・北部）で早期注意情報の「大雨」で「高」または「中」の日があるとき	<input type="checkbox"/> タイムライン発動を職員に周知 <input type="checkbox"/> 防災気象情報の収集 <input type="checkbox"/>				
		レベル1 災害への心構えを高める						
		レベル2 災害モード意識に切替	<input type="checkbox"/> 大雨又は洪水注意報が発表されたとき <input type="checkbox"/> 九州北部地方で線状降水帯が発生する可能性があると発表されたとき	<input type="checkbox"/> 防災気象情報の収集体制を強化 <input type="checkbox"/>				
	警戒体制	レベル3 災害発生の恐れ	<input type="checkbox"/> 大雨警報（浸水害）又は洪水警報が発表されたとき	<input type="checkbox"/> 施設周辺の様子を定期的に確認 <input type="checkbox"/> 施設に影響がある河川水位を定期的に確認 <input type="checkbox"/> 浸水（内水氾濫）と洪水（中小河川氾濫）のキキクル（危険度分布）を定期的に確認 <input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/> 警戒レベル3（高齢者等避難）が発令されたとき <small>※夜間に大雨が予想される場合、安全に避難できるように気象警報等が発表される前に早めに市町から避難情報が出されることがあります。</small>	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡 <input type="checkbox"/> 事前に指定された管理職及び職員は参集 <input type="checkbox"/>				
	非常体制	レベル4 (全員避難) 災害発生の恐れが高い	<input type="checkbox"/> 警戒レベル4（避難指示）が発令されたとき	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡 <input type="checkbox"/>				
			(河川氾濫)	<input checked="" type="checkbox"/> 施設内の安全な場所に避難開始 <input type="checkbox"/> 避難の準備開始 <input type="checkbox"/> 避難の開始 <input type="checkbox"/> 避難完了を自治体に報告 <input type="checkbox"/>				
			(その他)					
		レベル5 (緊急安全確保) 災害発生又は切迫	<input type="checkbox"/> 警戒レベル5（緊急安全確保）が発令されたとき	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡 <input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/> 施設及び周辺で浸水がはじまったとき	<input checked="" type="checkbox"/> 施設内の安全な場所に直ちに避難 <input type="checkbox"/> 避難の開始 <input type="checkbox"/> 避難完了を自治体に報告				

※本タイムラインはあくまでも目安です。タイムラインどおり起きるとは限りません。なお、警戒レベル5（緊急安全確保）は、必ず発令されるものではありません。

※災害を引き起こす自然現象を対象としているので、防災気象情報や施設周辺の状況に応じて、タイミング・判断基準にとらわれることなく常に「命を守る」ことを念頭に臨機応変に行動しましょう。

記入例

施設の所在地が唐津市・伊万里市・玄海町・有田町は「北部」、それ以外の市町は「南部」に○をします。

風水害から命を守るための最小限の防災行動（例）が示されています。必要に応じて防災行動の追加や行動内容を修正するなどして、タイムラインを充実させましょう。

役割分担では、防災行動を“誰が”行うかを検討しましょう。それぞれの防災行動に対して、主体的に行動する人は「◎」、行動を支援する人は「○」を記入します。

時間 (目安)	施設の防災体制		タイミング・判断基準		役割分担 (◎主体、○行動支援)			備考
	体制区分	タイムラインレベル	洪水		施設長	防災リーダー	夜勤責任者	
集中豪雨は、短時間で災害が発生する恐れがあります	注意体制	タイムライン発動	□ 佐賀県内で今後大雨が予想され、佐賀県（南部・北部）で早期注意情報の「大雨」で「高」または「中」の日があるとき		□ タイムライン発動を職員に周知 □ 防災気象情報の収集 □	○	◎	
		レベル1 災害への心構えを高める						
		レベル2 災害モード意識に切替	□ 大雨又は洪水注意報が発表されたとき □ 九州北部地方で線状降水帯が発生する可能性があると発表されたとき		□ 防災気象情報の収集体制を強化 □	○	○	◎
	警戒体制	レベル3 災害発生の恐れ	□ 大雨警報（浸水害）又は洪水警報が発表されたとき		□ 施設周辺の様子を定期的に確認 □ 施設に影響がある河川水位を定期的に確認 □ 浸水（内水氾濫）と洪水（中小河川氾濫）のキキクル（危険度分布）を定期的に確認 □	○	○	◎
			□ 警戒レベル3（高齢者等避難）が発令されたとき ※夜間に大雨が予想される場合、安全に避難できるように気象警報等が発表される前に早めに市町から避難情報が出されることがあります。		□ 施設長に報告及び全職員に連絡 □ 事前に指定された管理職及び職員は参集 □ 避難支援協力者に協力要請	○	○	◎
	非常体制	レベル4 (全員避難) 災害発生の恐れが高い	□ 警戒レベル4（避難指示）が発令されたとき		□ 施設長に報告及び全職員に連絡 □	○	○	◎
			(河川氾濫) ●●川××観測所で「氾濫危険水位」を超えたとき		● 施設内の安全な場所に避難開始 □ 避難の準備開始 □ 避難の開始	○	○	◎
			(その他) ため池に関して避難指示が発令されたとき		● 施設内の避難スペースに避難するタイミングを、災害種別ごとに記入します。			
		レベル5 (緊急安全確保) 災害発生又は切迫	□ 警戒レベル5（緊急安全確保）が発令されたとき		□ 施設長に報告及び全職員に連絡 □	○	○	◎
			□ 施設及び周辺で浸水がはじまったとき		● 施設内の安全な場所に直ちに避難 □ 避難の開始 □ 避難完了を自治体に報告	○	○	◎

※本タイムラインはあくまでも目安です。タイムラインどおり起きるとは限りません。なお、警戒レベル5（緊急安全確保）は、必ず発令されるものではありません。  
 ※災害を引き起こす自然現象を対象としているので、防災気象情報や施設周辺の状況に応じて、タイミング・判断基準にとらわれることなく常に「命を守る」ことを念頭に臨機応変に行動しましょう。